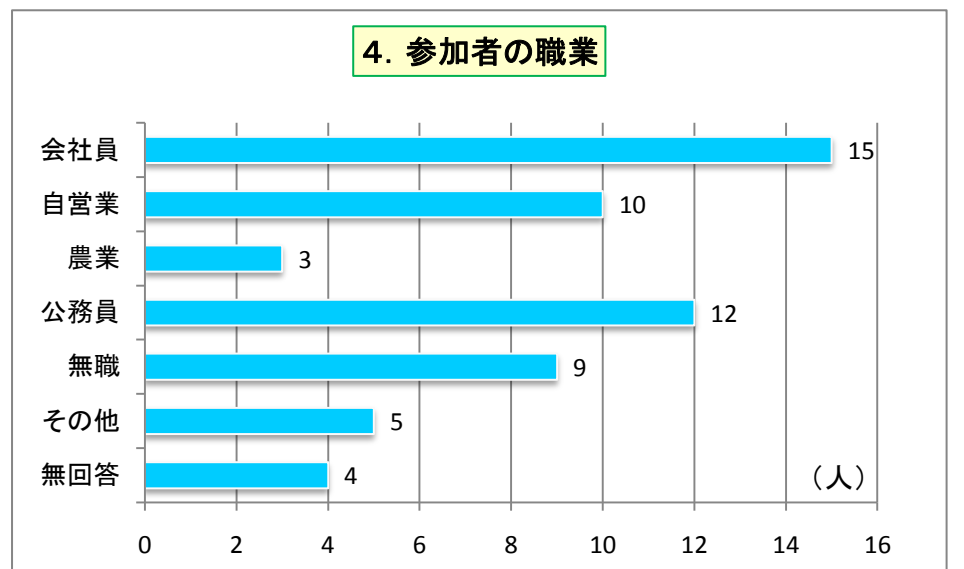
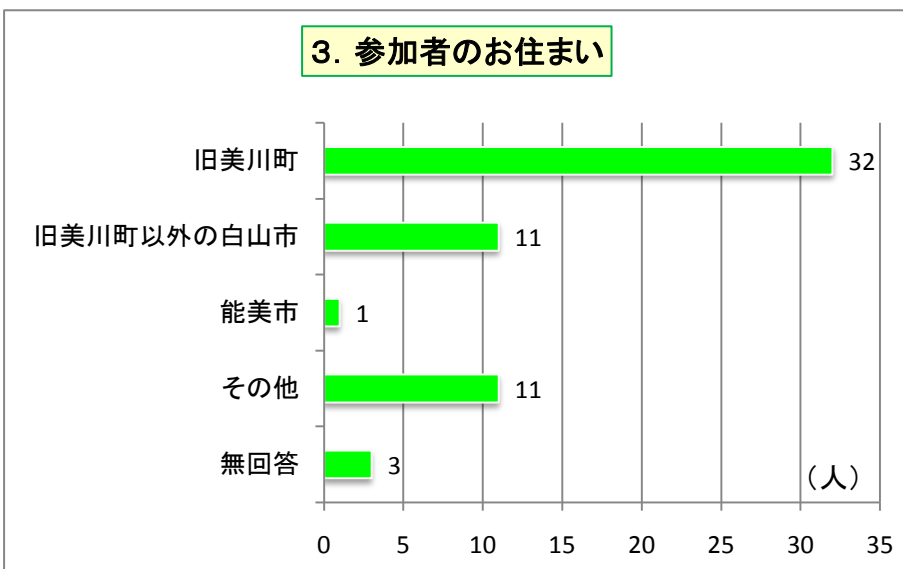
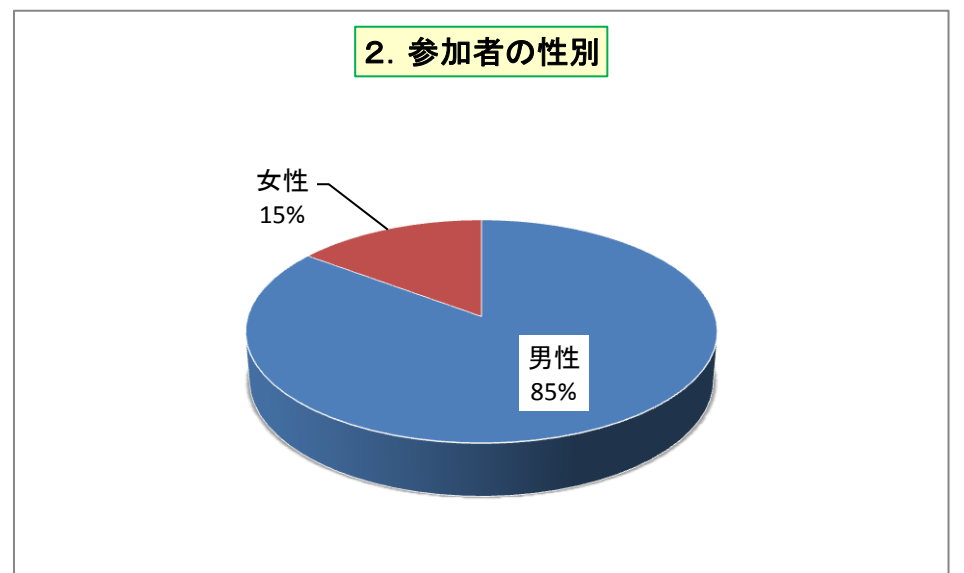
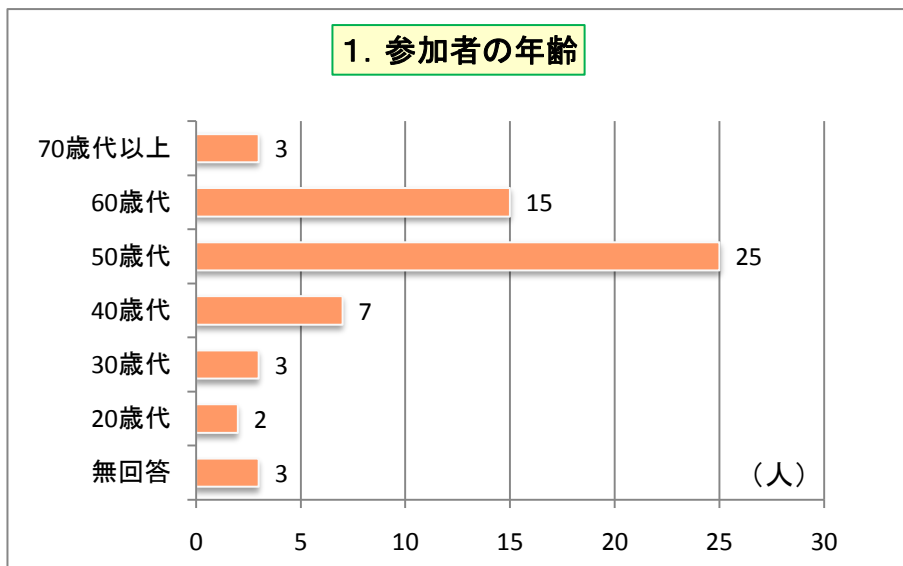
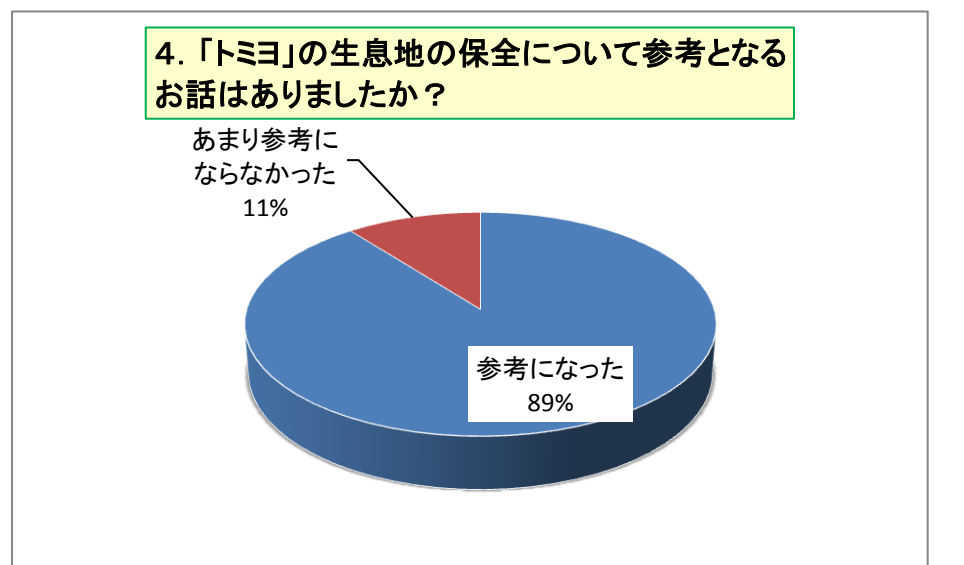
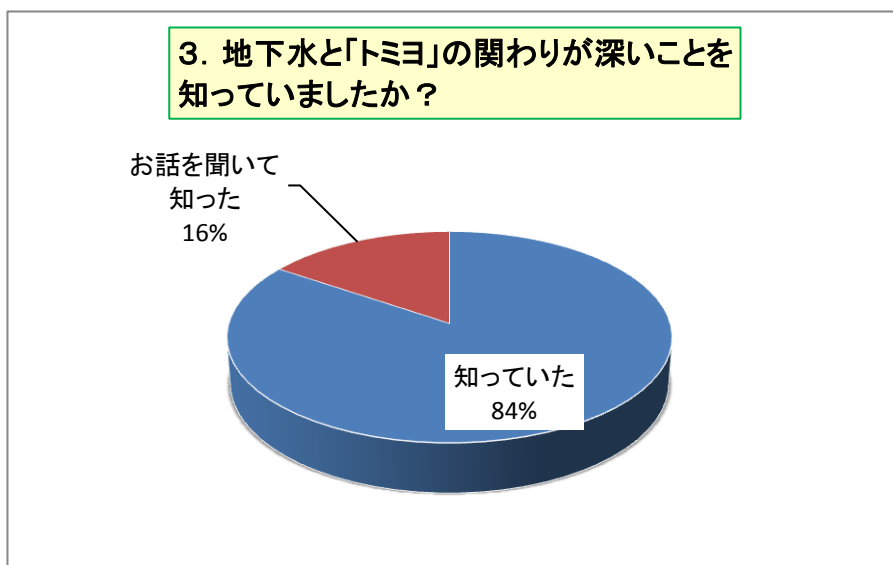
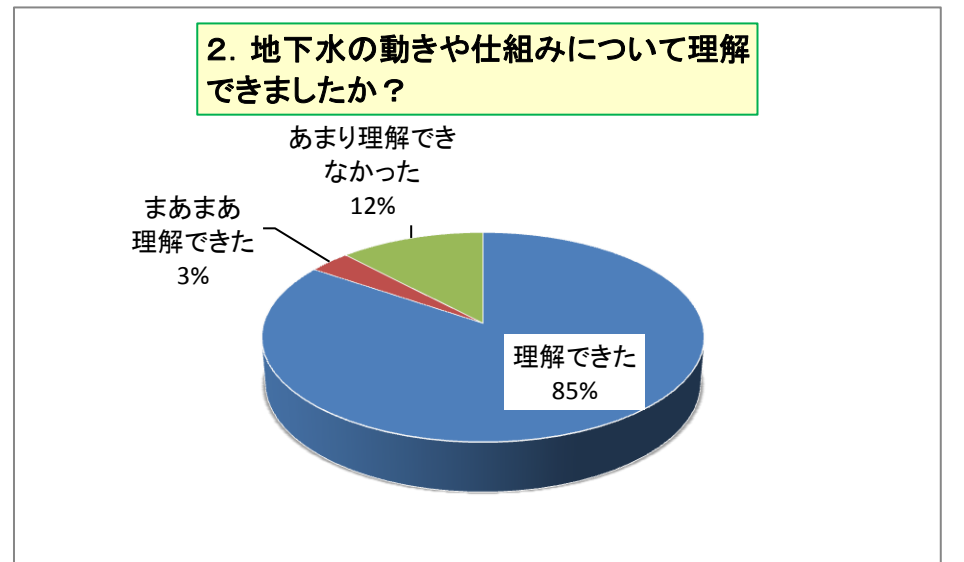
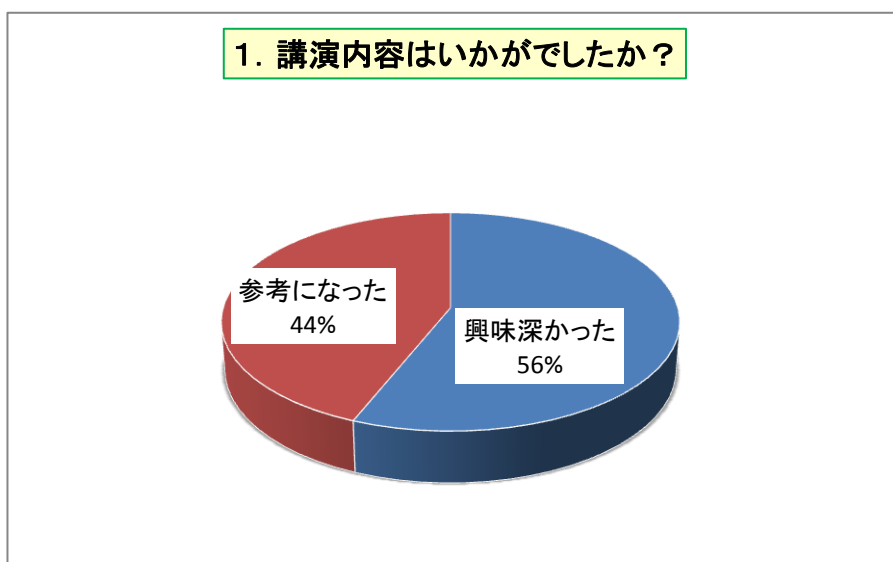


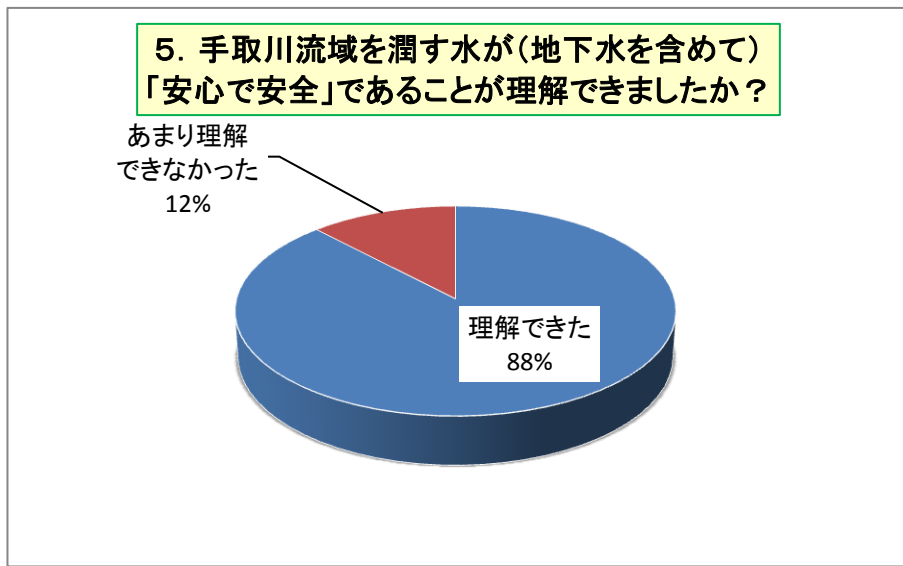
★ 手取川流域座談会 アンケート調査結果：回収率94%（回収：58部/配布：62部）

■ 座談会の参加者

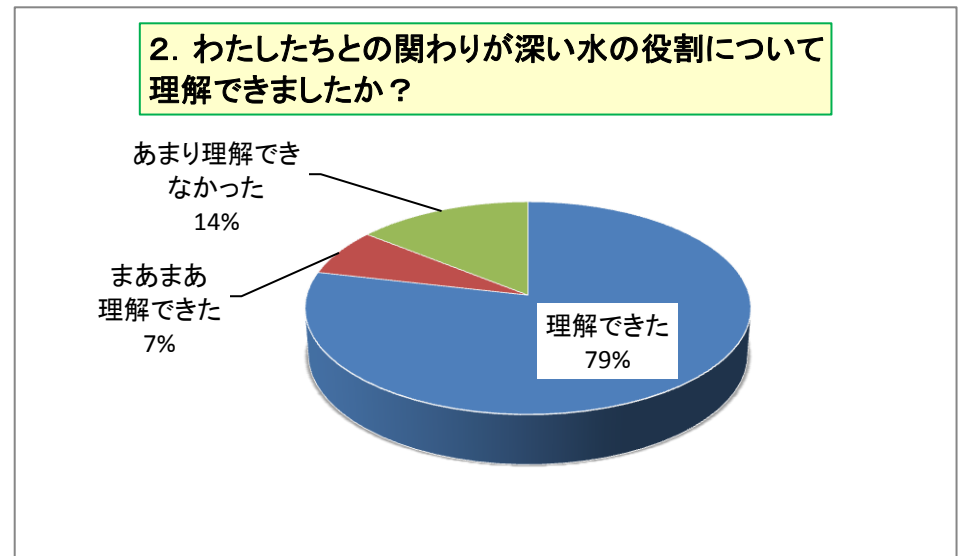
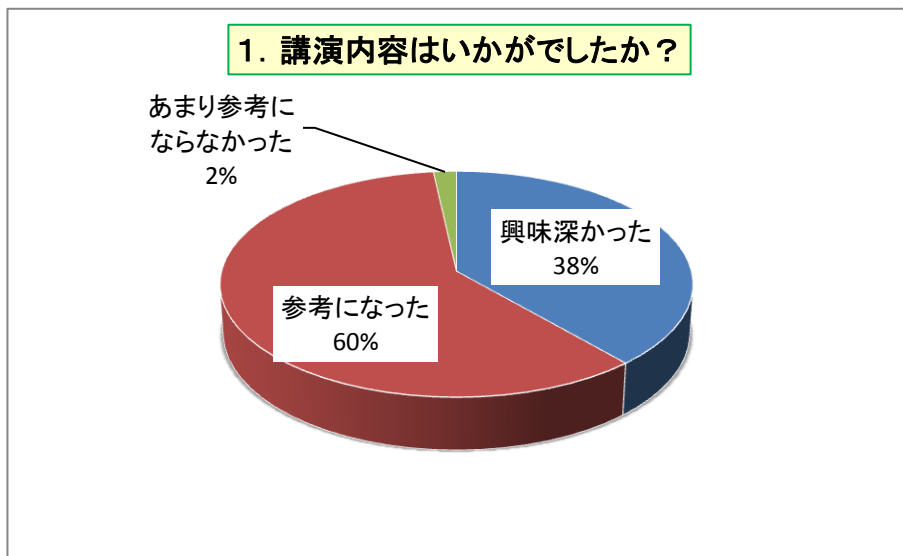


■ 問1. 講演「手取川扇状地の地下水はどこからやってくるのか？」について(土原先生)

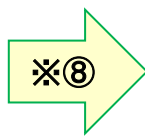
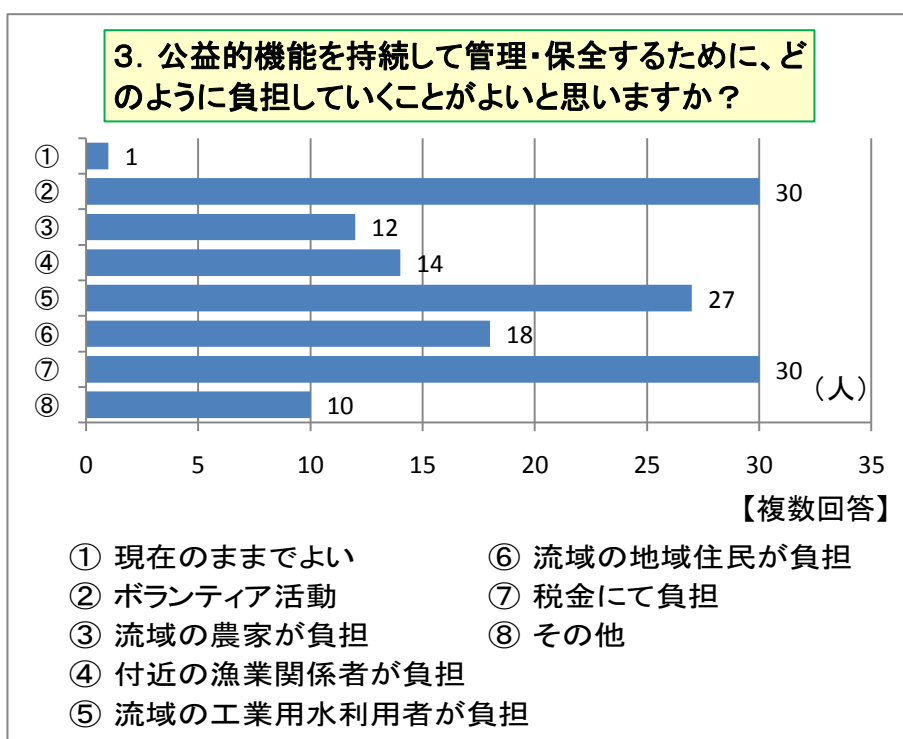
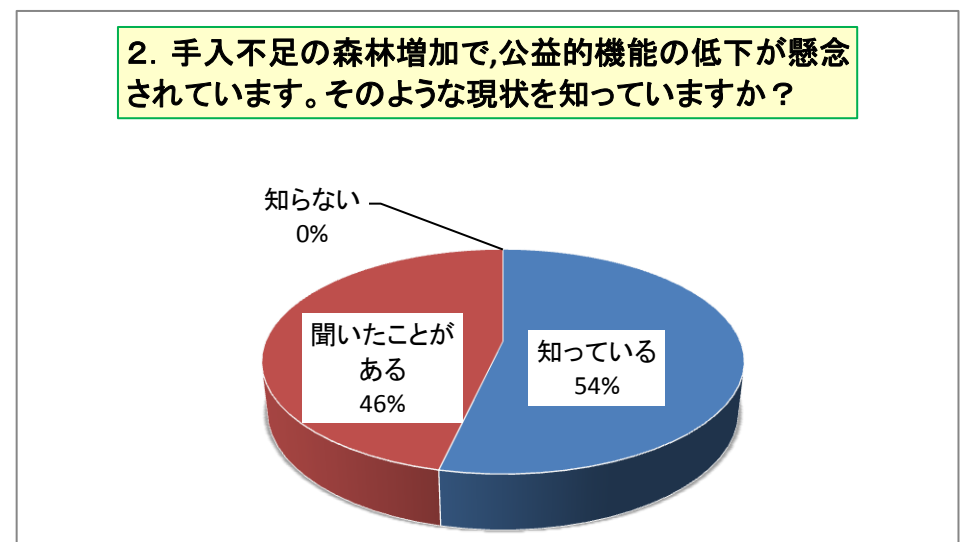
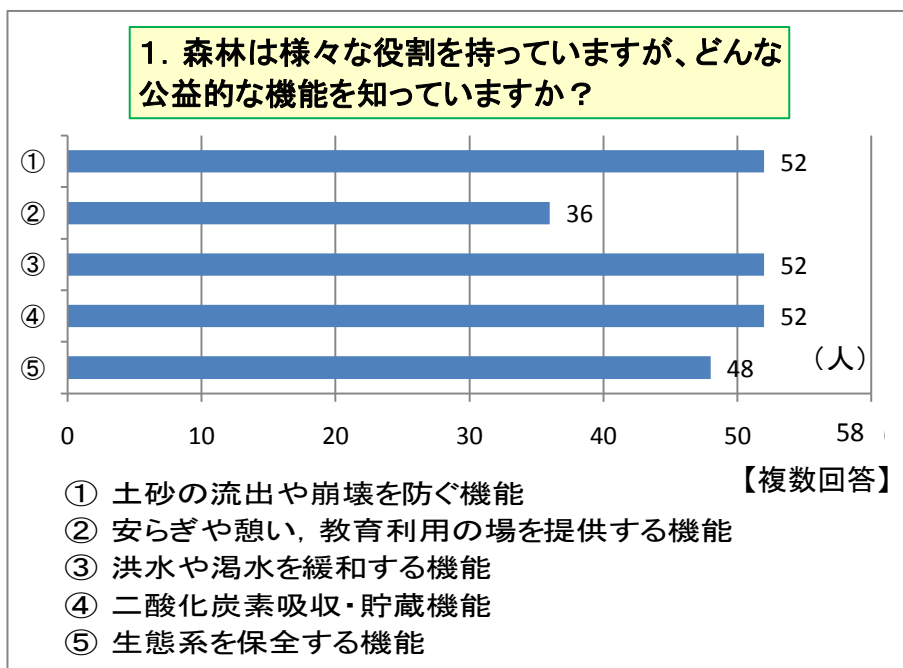




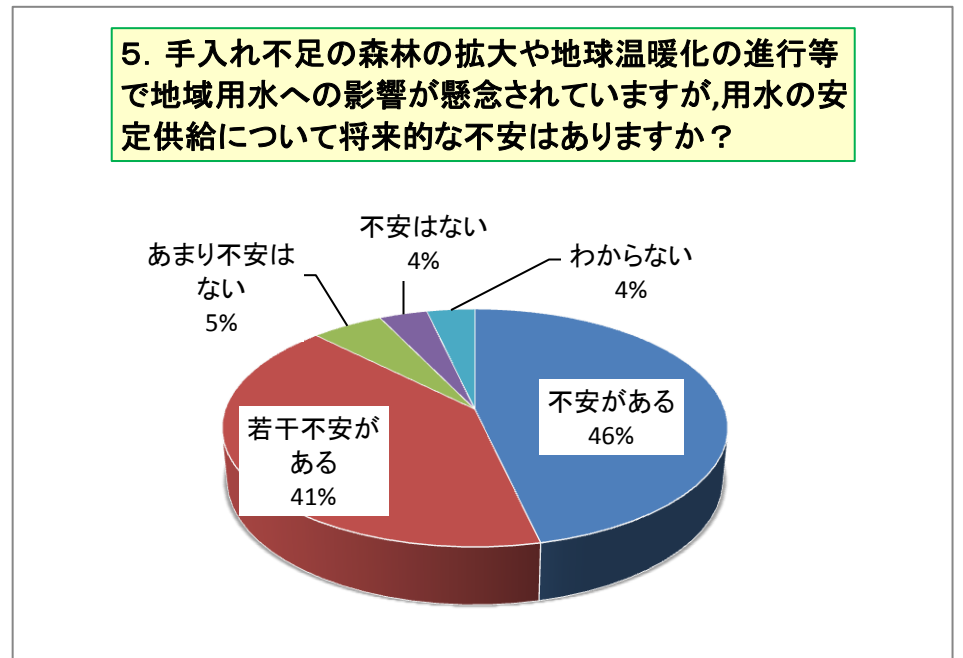
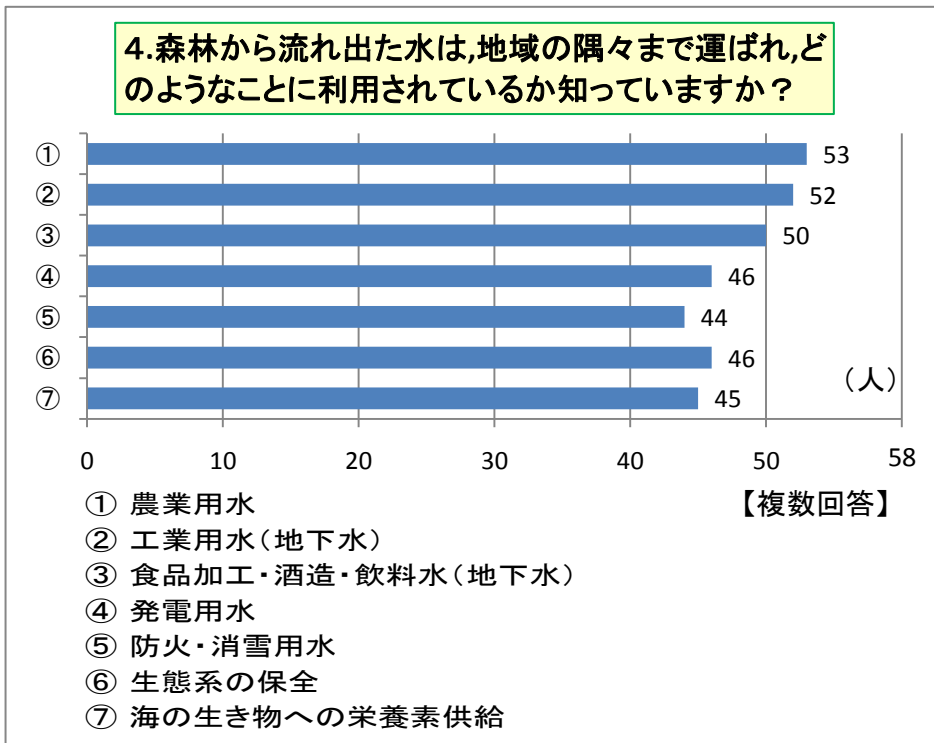
■ 問2. 講演「白山からもたらされる多くの恵み」について(早瀬先生)



■ 問3. 「水」を生み出す森林のことについてお聞きします。



- ※ ⑧その他意見の内容
- ・国全体で管理、保全を考える組織(2人)
 - ・行政と民間の長期的プロジェクトにおける計画等(1人)
 - ・環境税、目的税など全ての人が負担すべき(2人)
 - ・全ての住民が維持すべき、出来ない人は税負担(1人)
 - ・全体が連携し取り組む活動補助(2人)
 - ・ファンド、新しい視点のビジネス、雇用場の創設(2人)



■ 座談会の効果・要望等

<環境意識の向上>

- ・ 白山をとりまく環境は水だけではなく、様々な要因をまとめてみたい。 (50代、男性、自営業、旧美川町以外の白山市)
- ・ 今まで、水を利用したり、トミヨの保全活動に携わっても、上流の水の流れや地下水など考えたことがなかったので、考えるよいきっかけとなった。 (30代、男性、会社員、能美市)
- ・ 手取川の水量確保と動植物を守る取り組みは私たち人間の安全で安心なくらしにつながると思った。 (50代、男性、公務員、旧美川町)

<対策意識の向上>

- ・ 地下水の恩恵は受益者の負担、保全が是非必要だと思った。 (50代、男性、自営業、旧美川町以外の白山市)
- ・ 長期実施計画(項目と期間の設定)を市と県の広報に載せて進めなければ意味がないのではないか。環境保全の具体策を示さなければいけないと思った。 (60代、男性、無職、旧美川町)
- ・ 河川工事等の計画については、可能な限り環境への負荷を軽減するよう努めることが必要だと思った。 (50代、男性、公務員、旧美川町)
- ・ 森林の下草刈りなどを通じて、荒廃を防ぐ取り組みが必要だと思った。 (50代、男性、旧美川町)

<連携意識の向上>

- ・ 環境は境のない環(わ)であるべきだと思った。 (50代、男性、自営業、旧美川町以外の白山市)
- ・ 手取川の水を守るため、手取川流域の動植物の生態系維持のため、手取川を愛する会等や他団体と協力したい。 (50代、男性、公務員、旧美川町)
- ・ 全ての関係機関との連携が必要、各部所でそれぞれ異なった取り組みをしても意味がないと思った。 (50代、男性、公務員、旧美川町)
- ・ ボランティアに援助(資金面で)して、都会の人に森林保全のネットワークを作ることが大切だと思った。 (50代、男性、旧美川町)
- ・ 水の所有者は重要な問題だと思った。名水で有名な福井県大野市は保全活動が活発であり、参考にしたい。 (50代、男性、自営業、旧美川町)

<次回の座談会への要望>

- ・ 水利用の最先端の企業(酒屋、先端企業など)の直接の担当者も(学者だけでなく、農業技術者以外にも)入れた座談会にしたら良い。 (50代、男性、自営業、旧美川町以外の白山市)
- ・ 一般の方には、ちょっとレベル(専門度)が高かったと思いますが、個人的には興味のある内容でした。水の硬度等、身近な話題があっても良かったか。 (50代、男性、自営業、旧美川町)